



平成30年10月24日（水）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
医療福祉連携推進課	障がい児者医療推進係	上野・清生	内線 2628 直通 058-272-8279 FAX 058-278-2871

## 「第9回岐阜県小児在宅医療研究会」を開催します (参加者募集)

医療的ケアを要する重症心身障がい児者が年々増加し、その多くが在宅生活を送るようになっていきます。県では、その支援に携わる医療、看護、福祉、教育、行政等の関係者が一堂に会し、課題の共有とその解決に向けて知恵を出し合うとともに、相互に交流ができる関係づくりを目指し、平成25年度から岐阜県小児在宅医療研究会を開催しています。

第9回目となる今回は、小児在宅医療における地域連携支援をテーマに、基調講演では、小児在宅・人工呼吸器ケアの第一人者である土畠智幸先生（医療法人稲生会理事長・生涯医療クリニックさっぽろ院長）より、北海道での事例をもとに小児在宅医療における地域連携支援の取組みについてご講演いただきます。また、シンポジウムでは、小児在宅医療に携わる多職種の支援者がその取組みについて発表を行います。

### 記

1 日時 平成30年12月9日（日）13:30～17:00（開場13:00）

2 場所 岐阜県立看護大学 講堂（羽島市江吉良町3047-1）

3 テーマ 小児在宅医療における地域連携支援について

### 4 内容

#### (1) プログラム

◎開会あいさつ 岐阜県健康福祉部次長 西 哲也

◎基調講演 演題：「小児在宅医療における地域連携支援 ～北海道の事例をもとに～」  
講師：土畠 智幸 医療法人稲生会理事長・生涯医療クリニックさっぽろ院長

#### ◎シンポジウム

○座長 西村 悟子 岐阜大学大学院医学系研究科 障がい児者医療学寄附講座 特任准教授  
山本 崇裕 岐阜大学大学院医学系研究科 障がい児者医療学寄附講座 特任助教

#### ○事例発表

・「急性期病院の中の慢性期病棟としての「すこやか」の意義と役割」

長澤 宏幸 岐阜県総合医療センター 重症心身障がい児施設すこやか施設長

- ・「飛騨地域におけるナーシングデイの役割を考える」  
今井 由香里 岐阜県看護協会立ナーシングデイ高山 児童発達支援管理責任者
- ・「同じ時代に今出逢えた子どもたちと思いのままに生きるためには」  
瀬瀬 栄司 特定非営利活動法人らいふくらうど理事長・放課後等デイサービスゆう管理者
- ・「プロデューサーが見た全国の重心児・医ケア児通所施設」  
平田 節子 医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック 総合プロデューサー

○総合討論

◎閉会あいさつ 松原 繁俊 岐阜県健康福祉部 医療福祉連携推進課長

5 参加料 無料

6 定員 200名（事前申込制、先着順）

7 主催 岐阜県

後援 岐阜県医師会、岐阜県小児科医会、岐阜県歯科医師会、岐阜県薬剤師会、  
岐阜県看護協会、岐阜県特別支援学校長会

8 申込締切 平成30年11月30日（金）

9 申込方法 所定の参加申込書にご記入の上、FAX（058-278-2871）にて事務局  
（岐阜県医療福祉連携推進課 障がい児者医療推進係）へお申込みください。

- ・参加申込書は、県医療福祉連携推進課で配布または以下のホームページからもダウンロードできます。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/iryo/shogaisha-iryo/11230/301209gifusyounikenkyuentry.html>